

2020年5月、大日本山林会の林業文献センターがその収集資料群とともに林業遺産に登録されました。

古今東西、森林・林業・林産業関係の文献・資料は散逸しやすい状況にありました。こうした文献等を収集・分類・保管し、社会一般の利用に供する機関を設立しようと、小林準一郎氏当時王子製紙副社長が構想し、林政ジャーナリスト・宮原省久氏の蔵書約5千点の寄贈や多くの方々の協力を得て、1977年6月、小林氏の私的機関として林業文献センターが文京区小石川の伝通院ビルの一室でスタートしました。

その後、81年に林政総合調査研究所の付属機関となり、翌82年には手狭になっていた伝通院ビルから東京のご真ん中、港区赤坂の三會堂ビル地下1階に移転し、大日本山林会の資金協力の下で運営を継続することになりました。

そして、86年6月、名実ともに本センターの運営を望んでいた大日本山林会に創立百周年記念行事として林政総合調査研究所から寄付の形で移管され、現在の林業文献センターが出来上がりました。

現在、収集資料群の総数は優に3万点を超えています。その最大の特徴は、本センター創立時に所蔵文献の骨格を成した宮原氏の資料をはじめ、森

林業文献センターの閲覧室



林業文献センターが入る三會堂ビル



甲州河浦山木材切出御用之図（島田文庫）



日本森林学会による

# 日本の林業遺産を知ろう！

第29回

大日本山林会 林業文献センターと収集資料群

公益社団法人大日本山林会 常務理事 まつもと よしき  
松本 芳樹

林・林業・林産業に造詣の深い多くの方々から寄贈された資料群が、それぞれ「宮原文庫」のように寄贈者の名字を付して「〇〇文庫」と呼ばれていることです。

収集した年代順に主な文庫の特徴を整理してみると次のようになります。

### ■宮原文庫

林材、林政を中心とし、技術論や戦前期のパンフレットまでと内容が多彩なことが特徴で、1931年創刊の日本文材研究会『木材』の全号収集は唯一無二のものとされています。

### ■小林文庫

本センター創設者の「小林文庫」は、

戦前、樺太から中国まで工場を持つトツプ企業であった旧王子製紙関係の資料が主体を占めています。

### ■早尾文庫

元山林局業務課長であった早尾丑磨氏が収集した旧山林局書類が主体で、最終文書のみならず草案段階の文書も多数含み、早尾氏本人によるいろいろな書き込みがあるのが特徴で、深い読み込みが可能な貴重な資料です。

### ■藤村文庫

元林野庁指導部長であった藤村重任氏が国有林の形成過程を研究するために収集した資料を主体とします。

### ■大島文庫

戦争末期に山林局で木材統制を担当した大島卓司氏が収集した資料です。

### ■増田文庫

本多静六博士や徳川宗敬博士の私設秘書的な仕事をされていた増田荘一氏が収集した資料で、藩政時代を含む日本林政に関する多彩な資料から絵図まで完成した資料のみならず未完成の粗資料までの膨大な数が手付かずのまま残されています。

### ■中村文庫

元東京農工大教授の中村克哉氏が収集した資料で、椎茸栽培に関する初期の研究、指導書など特用林産物に関する資料です。中でも田中長嶺の「菌類

標本」は、左右見開きの右側にきのこの写真、左側に標本そのものを配置させて製本した珍しい書籍です。

大日本山林会のWebサイトでは、林業文献センターのページにある「文献・資料検索画面」から書名、著者名、発行年等により収蔵資料を検索できるようにしていますので、ご興味をお持ちの方にご利用いただければ幸いです。また、将来的には、林業遺産に登録されたこの貴重な資料群をより多くの方にご覧いただくため、Webサイトでの検索だけではなく、閲覧も可能となるように改善する考えですので、是非そちらにもご期待ください。



『木材』創刊号

秋田材時代来る

野 尻 隆 生

秋田材の時代は、戦前、戦中を通じて、日本の木材産業に大きな影響を与えた。この時代の木材産業は、主に秋田材の産出と流通によって支えられていた。秋田材は、その品質の高さと供給量の多さから、国内だけでなく、海外にも広く輸出された。この時代の木材産業は、日本の経済成長に大きく貢献した。秋田材の時代は、日本の木材産業の黄金時代と呼ばれている。この時代の木材産業は、日本の経済成長に大きく貢献した。秋田材の時代は、日本の木材産業の黄金時代と呼ばれている。この時代の木材産業は、日本の経済成長に大きく貢献した。



増田文庫の所蔵資料



田中長嶺「菌類標本」



林業文献センターのページ内にある文献・資料検索画面

公益社団法人 大日本山林会 林業文献センター  
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル B1F  
☎ 03 (3585) 9608  
URL : <https://sanrinkai.or.jp/center>

